

妙智會

4月6日釈尊ご降誕祭
千葉聖地 聖苑
宮本會長先生ご指導Vol. 162
2025. 4. 12
1/1

此処心のふるさと、千葉聖地へようこそお越しくださいました。心より感謝を申し上げます。

會主さまは「お釈迦さまは太陽です」とおっしゃっておりました。太陽というのは、人間にとって「命のもと」で医学的にも科学的にも太陽がなければ、生命を維持できないと言われており、會主さまが「お釈迦さまは太陽です」とおっしゃったのは深い意味があるのです。お釈迦さまだけではなく、日本の国を作られた天照大神も太陽神と言われており、また大日如来も太陽を司っていると言われております。世界でも、アポロやコロナなど、太陽というものは各国で神さま、佛さまと言われているのです。

しかしながら、人間は知恵がついてきますと、太陽の存在を科学的、天文学的に理解してしまいがちです。これはとても怖いものだと思います。人間は「尊いものなくして生きられない」ということをしっかり受け止めていかなければならないのです。

尊いものを尊く思う心、そして尊いものに対する感謝なくして、人間としての意義がないと言っても過言でないと、私は思っております。それは未来永劫変わらない、普遍的な人間の心構えであると信じております。

どうぞ皆さん、この尊い場所で、尊い釈尊ご降誕祭に、尊い心でお越し頂いたことは「大きな功德、宝物」でございます。どうぞ尊い存在に対しての献身と敬う心、感謝の心をさらに培っていただきたいと思います。そして、それを教えてくださった會主さまはありがたい存在であるということを、心新たに思って頂いて、今日から精進努力をしてください。感謝の修行をお願いいたします。